

# 令和8年度第1回幕別町地域公共交通活性化協議会議案

【書面会議】

## 1 議 事

議案第1号 令和9年度幕別町地域公共交通確保維持事業（フィーダー系統補助）に係る計画認定申請について

## 2 報告事項

報告第1号 幕別町地域公共交通活性化協議会委員の変更について

報告第2号 令和7年度幕別町地域公共交通活性化協議会事業報告について

報告第3号 令和7年度幕別町地域公共交通活性化協議会歳入歳出決算報告及び監査報告について

報告第4号 コミュニティバスの運行実績について

報告第5号 予約型乗合タクシーの運行実績について

## 3 その他

### 【配付資料】

資料1 令和8年度 幕別町地域公共交通活性化協議会委員名簿

資料2 令和9年度幕別町地域公共交通確保維持事業（フィーダー系統補助）に係る計画認定申請（案）

議案第 1 号 令和 9 年度幕別町地域公共交通確保維持事業（フィーダー系統補助）に係る計画認定申請について

資料 2 のとおり。

【説明】

町コミュニティバス及び予約型乗合タクシーに係る令和 9 年度分(令和 8 年 10 月 1 日～令和 9 年 9 月 30 日)の事業計画について、資料 2 のとおり帯広運輸支局を通じ、国土交通大臣に提出するもの。

【補足】

○フィーダー系統とは、路線バス停留所や鉄道駅等の地域間交通ネットワークと接続する系統のことをいいます。本町ではコミバスと予約型乗合タクシーが該当します。

○事業計画を提出することにより、コミバス及び予約型乗合タクシーにおける補助対象経費の 2 分の 1 に相当する額以内を国庫から補助されるものです。

ただし、自治体ごとに上限額が設けられています。

※国への提出後に指摘事項が出てくることも想定されますが、その対応については、事務局に一任いただきたいと思います。

目標乗車人数

	令和 8 年度目標 (令和 7 年 10 月～令和 8 年 9 月計画) ※カッコ内は R 7 実績値	令和 9 年度目標 (令和 8 年 10 月～令和 9 年 9 月計画) ※今回目標設定分
コミバス	幕別線 36.2 人／日 (45.9 人／日) 札内線 71.2 人／日 (89.1 人／日)	幕別線 $27,094 \times 34.0\% \div 243 \text{日} = 37.9 \text{人／日}$ 札内線 $27,094 \times 66.0\% \div 243 \text{日} = 73.6 \text{人／日}$ (計画中の令和 8 年度目標値である 27,094 人を令和 7 年度の路線別利用実績に応じて按分) 上記の数値と前年度実績を比較し、いずれか高い数値を令和 9 年度の目標値とする。 幕別線 <u>45.9 人／日</u> (令和 7 年度実績値) 札内線 <u>89.1 人／日</u> (令和 7 年度実績値)
タクシー	駒島線 2.6 人／日 (2.2 人／日) 古舞線 3.6 人／日 (3.6 人／日)	駒島線 $1,250 \times 31.0\% \div 172 \text{日} = 2.3 \text{人／日}$ 古舞線 $1,250 \times 69.0\% \div 205 \text{日} = 4.2 \text{人／日}$ ※計画中の令和 8 年度目標値である 1,250 人を令和 7 年度の路線別利用実績に応じて按分し、過去 3 年の平均運行日数で除して算定

※令和 5 年 7 月に行ったコミュニティバスのダイヤ改正と運行エリアへの時刻表配布、高齢者等の運賃無償化により利用者数が増加したが、前述した要因による一時的な増加と捉えており、人口減少傾向に変わりはないため、公共交通計画策定時に設定した緩やかな利用者数増加の目標値と前年度実績値を比較し、高い数値を目標値とするものです。

## 報告第1号 幕別町地域公共交通活性化協議会委員の変更について

春の人事異動等により、各団体より委員として新たに推薦いただいたことにより次のとおり変更となるものです。令和8年度の委員構成は資料1のとおりとなります。

### 委員の変更について

2	所 属	役 職	氏 名
旧	帯広運輸支局	首席運輸企画専門官	徳田 陽介
新		首席運輸企画専門官	湯澤 憲一郎

3	所 属	役 職	氏 名
旧	十勝総合振興局地域創生部	課長	石山 大介
新	地域政策課	課長	牧村 匠太郎

4	所 属	役 職	氏 名
旧	帯広開発建設部道路計画課	課長	小林 悟
新		課長	佐々木 一靖

5	所 属	役 職	氏 名
旧	十勝総合振興局帯広建設管理部事業室	課長	日下 和雅
新	地域調整課	課長	赤塚 靖

19	所 属	役 職	氏 名
旧	幕別町PTA連合会	会長	鳴海 走也
新		会長	谷山 光一

22	所 属	役 職	氏 名
旧	幕別町住民生活部	部長	寺田 治
新		部長	白坂 博司

24	所 属	役 職	氏 名
旧	幕別町経済部	部長	高橋 修二
新		部長	西嶋 慎

26	所 属	役 職	氏 名
旧	幕別町教育委員会教育部	部長	石田 晋一
新		部長	谷口 英将

#### 【説明】

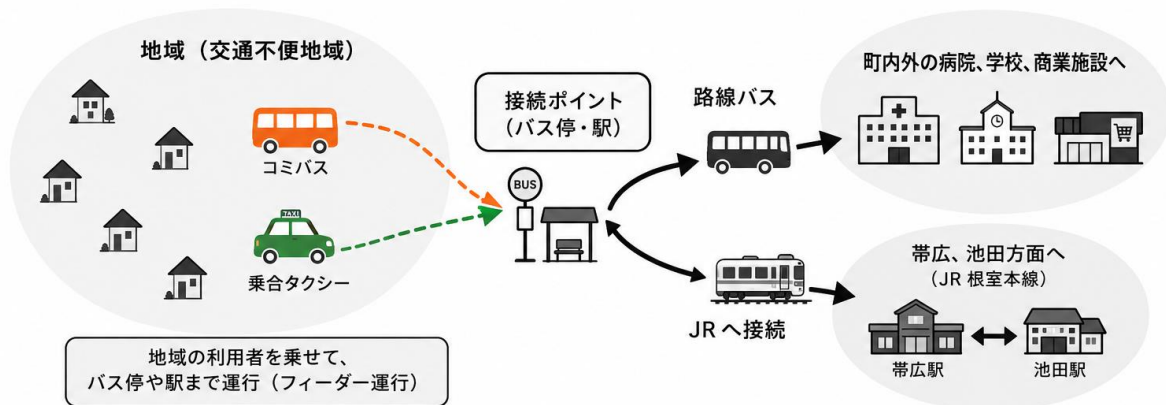
2～5、22、24、26：令和8年4月1日付各所属の人事異動によるものです。  
 19：団体の役員改選により新たに推薦いただいたことによるものです。  
 委員の任期は前任者の残任期間（令和10年1月23日まで）となります。

## 報告第2号 令和7年度幕別町地域公共交通活性化協議会事業報告について

月 日	事業名	事業内容・協議事項等
令和7年 6月26日	第1回 協議会 (書面会議)	○議案1 令和7年度幕別町地域公共交通活性化協議会予算(案)について 2 令和8年度幕別町地域公共交通確保維持事業(フィーダー系統補助)に係る計画認定申請について ◇報告1 幕別町地域公共交通活性化協議会委員の変更について 2 令和6年度幕別町地域公共交通活性化協議会事業報告について 3 令和6年度幕別町地域公共交通活性化協議会歳入歳出決算報告及び監査報告について 4 コミュニティバスの運行実績について 5 予約型乗合タクシーの運行実績について
令和8年 1月9日	第2回 協議会 (書面会議)	○議案3 地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について 4 幕別町地域公共交通計画の進捗状況について ◇報告6 幕別町地域公共交通活性化協議会委員の変更について
3月31日	第3回 協議会 (書面会議)	○議案5 令和8年度幕別町地域公共交通活性化協議会予算(案)について ◇報告7 幕別町地域公共交通活性化協議会役員の指名について 8 コミュニティバスにおけるラッピングの実施状況について

※「フィーダー(feeder「支流」)系統」とは

地域間を運行する路線バスの停留所や鉄道駅から乗り継ぎし、支流として運行する地域公共交通(コミバス・予約型乗合タクシー)のこと。



報告第3号 令和7年度幕別町地域公共交通活性化協議会歳入歳出決算報告及び監査報告について

歳入 (単位：円)

款	項	目	予算額	決算額	増減	摘要
1 負担金	1 負担金	1 負担金	0	0	0	
2 補助金	1 補助金	1 補助金	3,836,000	2,889,330	△946,670	1 国庫補助金 2,887,000 2 町補助金 2,330
3 繰越金	1 繰越金	1 繰越金	0	0	0	
4 諸収入	1 諸収入	1 雑入	0	420	420	1 預金利子 420
合計			3,836,000	2,889,750	△946,250	

歳出

款	項	目	予算額	決算額	増減	摘要
1 運営費	1 会議費	1 会議費	306,000	0	△306,000	
	2 事務費	1 事務費	6,000	2,750	△3,250	1 振込手数料 (3件)
2 事業費	1 事業費	1 事業費	3,524,000	2,887,000	△637,000	1 事業補助 (3事業者合計)
3 予備費	1 予備費	1 予備費	0	0	0	
合計			3,836,000	2,889,750	△946,250	

歳入合計 2,889,750円

歳出合計 2,889,750円

差引残額 0円

令和8年6月12日 提出

幕別町地域公共交通活性化協議会

会長 伊藤 博明


【説明】


事業費の決算額 2,887 千円については、令和7年度からの制度改正により国庫補助金が当協議会を經由して事業者に交付することと変更されたことによるものです。

## 令和7年度幕別町地域公共交通活性化協議会監査報告について

令和7年度幕別町地域公共交通活性化協議会歳入歳出決算について、令和8年5月21日に監査を行い、預金通帳、諸帳簿と決算書を照合した結果、いずれも適正であると認めます。

令和8年5月21日

監査委員 山添 まゆみ 

監査委員 川尻 宏 

## 報告第4号 コミュニティバスの運行実績について

コミュニティバスの運行実績について、次のとおり報告する。

		R 4年度 合計 251日間	R 5年度 合計 247日間	R 6年度 合計 241日間	R 7年度 合計 242日間	R 7-R 6 の比較 1日間	
幕別線	乗車人数	7,926人	10,247人	10,826人	ア 11,096人	オ 270人	
	1日平均	31.6人	41.5人	44.9人	イ 45.9人	カ 1.0人	
	1便平均	6.3人	8.3人	9.0人	ウ 9.2人	キ 0.2人	
	運賃収入	276,900円	150,850円	97,800円	エ 120,650円	22,850円	
札内線	順周り	乗車人数	7,952人	10,433人	11,653人	11,627人	-26人
		1日平均	31.7人	42.2人	48.4人	48.0人	-0.4人
		1便平均	6.3人	8.4人	9.7人	9.6人	-0.1人
		運賃収入	380,400円	201,450円	156,400円	214,500円	58,100円
	逆周り	乗車人数	6,072人	8,352人	9,646人	9,940人	294人
		1日平均	24.2人	33.8人	40.0人	41.1人	1.0人
		1便平均	6.0人	8.5人	10.0人	10.3人	0.3人
		運賃収入	372,550円	201,450円	151,450円	157,850円	6,400円
	計	乗車人数	14,024人	18,785人	21,299人	ク 21,567人	シ 268人
		1日平均	55.9人	76.1人	88.4人	ケ 89.1人	ス 0.7人
		1便平均	6.2人	8.5人	9.8人	コ 9.9人	セ 0.1人
		運賃収入	752,950円	402,900円	307,850円	サ 372,350円	64,500円
合計	乗車人数	21,950人	29,032人	32,125人	ソ 32,663人	テ 538人	
	1日平均	87.5人	117.5人	133.3人	タ 135.0人	ト 1.7人	
	1便平均	6.2人	8.4人	9.5人	チ 9.6人	ナ 0.1人	
	運賃収入	1,029,850円	553,750円	405,650円	ツ 493,000円	ニ 87,350円	

### 【説明】

幕別線の乗車人数実績は令和6年度比 表中オ欄のとおり 270人の増、  
札内線の乗車人数実績は令和6年度比 表中シ欄のとおり 268人の増、  
令和7年度の乗車人数合計は 表中ソ欄のとおり 32,663人となっており、  
令和6年度比 表中テ欄のとおり 538人の増となりました。

令和7年度の運賃収入は 表中ツ欄のとおり、年額で 493,000円となっており、  
令和6年度比 表中ニ欄の通り 87,350円の増となっております。

コミュニティバスについては令和5年7月のダイヤ改正にあわせて市街地に時刻表を  
配布し、広報紙に関連記事を掲載したほか、75歳以上の高齢者や65歳以上の運転免許返  
納者の運賃を無償化しており、令和4年度に比べて利用者数の増と、運賃収入の減に  
至ったものと考えております。

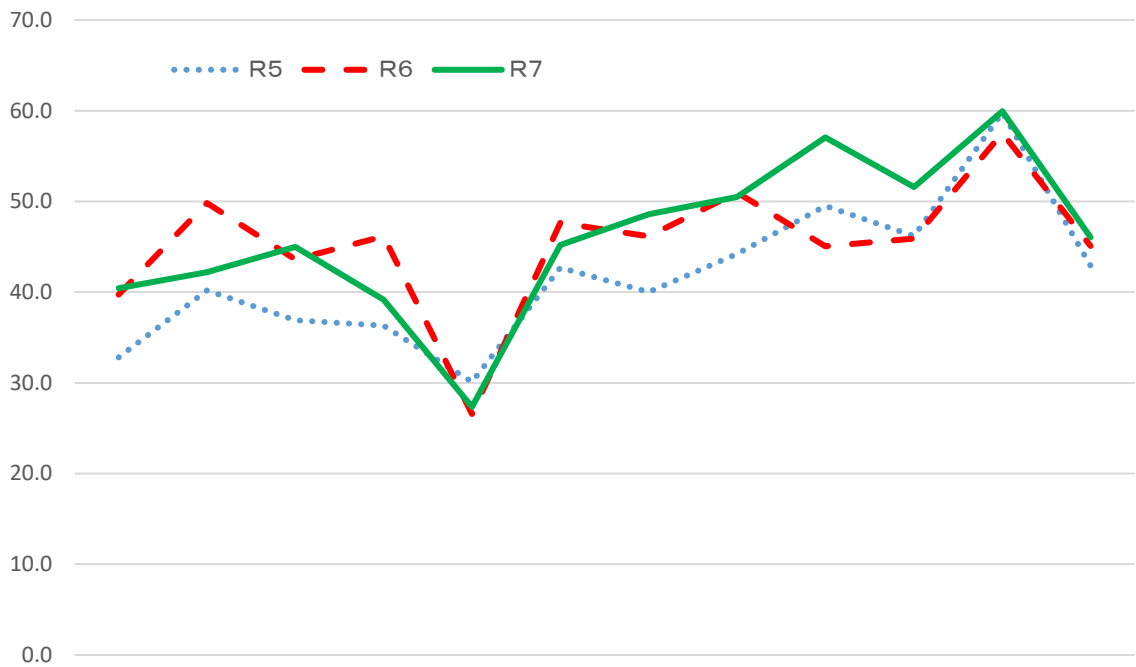
なお、令和7年12月の大雪による運休により、運行の安全が確保できないことから、  
幕別線・札内線ともに12/15から12/16までの2日間を運休としたところであります。

【参考】令和7年度 月別コミュニティバス運行実績

		R07. 4月 21日間	R07. 5月 20日間	R07. 6月 21日間	R07. 7月 22日間	R07. 8月 20日間	R07. 9月 20日間	124日間	
幕別線	乗車人数	849人	844人	945人	862人	547人	904人	4,951人	
	1日平均	40.4人	42.2人	45.0人	39.2人	27.4人	45.2人	39.9人	
	1便平均	8.1人	8.4人	9.0人	7.8人	5.5人	9.0人	8.0人	
	運賃収入	10,500円	3,000円	7,250円	6,950円	10,250円	7,400円	45,350円	
札内線	順周り	乗車人数	834人	757人	766人	780人	683人	715人	4,535人
		1日平均	39.7人	37.9人	36.5人	35.5人	34.2人	35.8人	36.6人
		1便平均	7.9人	7.6人	7.3人	7.1人	6.8人	7.2人	7.3人
		運賃収入	15,950円	12,500円	11,450円	12,900円	17,200円	9,700円	79,700円
	逆周り	乗車人数	736人	736人	746人	680人	687人	716人	4,301人
		1日平均	35.0人	36.8人	35.5人	30.9人	34.4人	35.8人	34.7人
		1便平均	8.8人	9.2人	8.9人	7.7人	8.6人	9.0人	8.7人
		運賃収入	10,150円	9,450円	16,350円	10,400円	14,500円	11,600円	72,450円
	計	乗車人数	1,570人	1,493人	1,512人	1,460人	1,370人	1,431人	8,836人
		1日平均	74.8人	74.7人	72.0人	66.4人	68.5人	71.6人	71.3人
		1便平均	8.3人	8.3人	8.0人	7.4人	7.6人	8.0人	7.9人
		運賃収入	26,100円	21,950円	27,800円	23,300円	31,700円	21,300円	152,150円
合計	乗車人数	2,419人	2,337人	2,457人	2,322人	1,917人	2,335人	13,787人	
	1日平均	115.2人	116.9人	117.0人	105.5人	95.9人	116.8人	111.2人	
	1便平均	8.2人	8.3人	8.4人	7.5人	6.8人	8.3人	7.9人	
	運賃収入	36,600円	24,950円	35,050円	30,250円	41,950円	28,700円	197,500円	
		R07. 10月 22日間	R07. 11月 18日間	R07. 12月 20日間	R08. 1月 19日間	R08. 2月 18日間	R08. 3月 21日間	118日間	
幕別線	乗車人数	1,069人	909人	1,141人	980人	1,079人	967人	6,145人	
	1日平均	48.6人	50.5人	57.1人	51.6人	59.9人	46.0人	52.1人	
	1便平均	9.7人	10.1人	11.4人	10.3人	12.0人	9.2人	10.4人	
	運賃収入	10,100円	6,400円	19,300円	14,800円	12,200円	12,500円	75,300円	
札内線	順周り	乗車人数	915人	880人	1,460人	1,266人	1,366人	1,205人	7,092人
		1日平均	41.6人	48.9人	73.0人	66.6人	75.9人	57.4人	60.1人
		1便平均	8.3人	9.8人	14.6人	13.3人	15.2人	11.5人	12.0人
		運賃収入	12,650円	14,700円	30,850円	28,250円	26,400円	21,950円	134,800円
	逆周り	乗車人数	879人	756人	1,032人	956人	965人	1,051人	5,639人
		1日平均	40.0人	42.0人	51.6人	50.3人	53.6人	50.0人	47.8人
		1便平均	10.0人	10.5人	12.9人	12.6人	13.4人	12.5人	11.9人
		運賃収入	13,300円	9,050円	15,450円	19,700円	14,100円	13,800円	85,400円
	計	乗車人数	1,794人	1,636人	2,492人	2,222人	2,331人	2,256人	12,731人
		1日平均	81.5人	90.9人	124.6人	116.9人	129.5人	107.4人	107.9人
		1便平均	9.1人	10.1人	13.8人	13.0人	14.4人	11.9人	12.0人
		運賃収入	25,950円	23,750円	46,300円	47,950円	40,500円	35,750円	220,200円
合計	乗車人数	2,863人	2,545人	3,633人	3,202人	3,410人	3,223人	18,876人	
	1日平均	130.1人	141.4人	181.7人	168.5人	189.4人	153.5人	160.0人	
	1便平均	9.3人	10.1人	13.0人	12.0人	13.5人	11.0人	11.4人	
	運賃収入	36,050円	30,150円	65,600円	62,750円	52,700円	48,250円	295,500円	

人/日

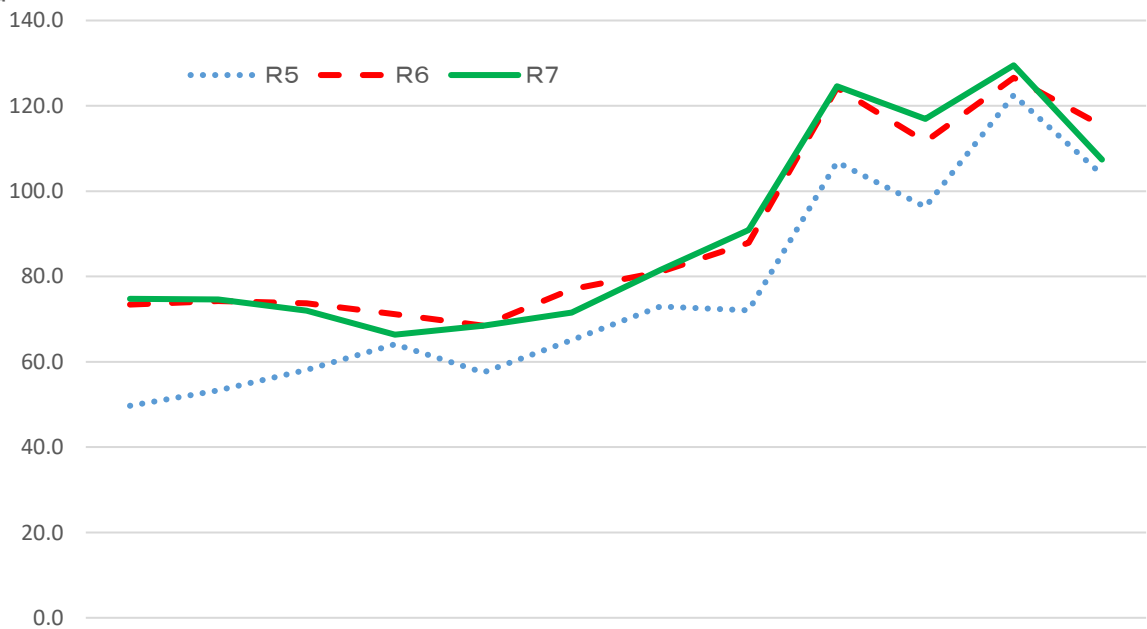
過去3年間の1日当たりの乗車人数(幕別線)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
R5	32.8	40.2	36.9	36.3	30.1	42.7	40.0	44.2	49.5	46.2	59.8	42.9
R6	39.7	49.8	43.6	46.1	26.6	47.6	46.2	51.0	45.0	45.9	57.5	45.1
R7	40.4	42.2	45.0	39.2	27.4	45.2	48.6	50.5	57.1	51.6	59.9	46.0

人/日

過去3年間の1日当たりの乗車人数(札内線)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
R5	49.7	53.3	58.1	64.1	57.5	65.1	73.0	72.1	106.8	96.3	122.5	103.9
R6	73.4	74.2	73.7	71.2	68.5	77.0	81.1	87.9	124.2	111.6	126.6	115.4
R7	74.8	74.7	72.0	66.4	68.5	71.6	81.5	90.9	124.6	116.9	129.5	107.4

○コミバスに係る経費等の推移

【令和5年度】

(千円)

	総経費		国庫補助		運賃・ 広告 収入等	町費補助
	運行費	車両費	運行費	車両費		
コミバス(幕別線)	6,271	0	323		201	5,747
コミバス(札内線・順回り)	6,158	0	893		252	5,013
コミバス(札内線・逆回り)	6,253	2,142	894	817	251	6,433
計	18,682	2,142	2,110	817	704	17,193
合計	20,824		2,927		704	17,193

【令和6年度】

(千円)

	総経費		国庫補助		運賃・ 広告 収入等	町費補助
	運行費	車両費	運行費	車両費		
コミバス(幕別線)	6,693		463		148	6,082
コミバス(札内線・順回り)	7,542		1,364		206	5,972
コミバス(札内線・逆回り)	7,073		1,364		202	5,507
計	21,308	0	3,191	0	556	17,561
合計	21,308		3,191		556	17,561

【令和7年度】

(千円)

	総経費		国庫補助		運賃・ 広告 収入等	町費補助
	運行費	車両費	運行費	車両費		
コミバス(幕別線)	5,856		388		171	5,297
コミバス(札内線・順回り)	10,212		1,132		264	8,816
コミバス(札内線・逆回り)	6,986		1,132		208	5,646
計	23,054	0	2,652	0	643	19,759
合計	23,054		2,652		643	19,759

【説明】

令和7年度においては、幕別線、札内線の総経費合わせて23,054千円に対し、運賃や広告収入を差し引いた表の右端19,759千円が町からの補助となっております。

町補助金が増加している主な理由として、車両の老朽化による修繕費の増、令和5年7月から開始した高齢者等運賃の無償化による運賃収入の減少が要因となっております。

報告第5号 予約型乗合タクシーの運行実績について

令和7年度の予約型乗合タクシーの運行実績について、次のとおり報告する。

【駒島線】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
運行可能日数	21日	20日	21日	22日	20日	20日	22日	18日	22日	19日	18日	21日	244日	
運行日数	15日	14日	12日	16日	16日	10日	9日	14日	15日	11日	8日	10日	150日	
運行回数	29回	24回	20回	26回	37回	17回	18回	16回	19回	17回	12回	16回	251回	
利用者数	39人	31人	32人	39人	57人	17人	20人	21人	22人	21人	16人	19人	334人	
運行率(日数)	71.4%	70.0%	57.1%	72.7%	80.0%	50.0%	40.9%	77.8%	68.2%	57.9%	44.4%	47.6%	61.5%	
運行率(回数)	27.6%	24.0%	19.0%	23.6%	37.0%	17.0%	16.4%	17.8%	17.3%	17.9%	13.3%	15.2%	20.6%	
便当たり乗車人数	1.3人	1.3人	1.6人	1.5人	1.5人	1.0人	1.1人	1.3人	1.2人	1.2人	1.3人	1.2人	1.3人	
運賃収入	8,100円	6,500円	5,300円	8,500円	14,600円	3,300円	2,800円	3,600円	3,800円	4,500円	2,500円	3,000円	66,500円	
運行回数(回)	1便	4	3	3	4	12	2	2	1	3	2		36	
	2便	15	13	11	11	11	9	9	13	11	10	8	131	
	3便	7	6	4	5	5	4	5	1	2	1	3	46	
	4便	2	2	1	3	1	2	1	1		2	1	3	19
	5便	1		1	3	8		1		3	2		19	
計	29	24	20	26	37	17	18	16	19	17	12	16	251	
利用者数(人)	1便	4	3	3	8	21	2	2	1	3	2		49	
	2便	25	19	21	16	16	9	11	18	14	12	13	188	
	3便	7	7	6	6	7	4	5	1	2	1	3	52	
	4便	2	2	1	3	1	2	1	1		2	1	19	
	5便	1		1	6	12		1		3	2		26	
計	39	31	32	39	57	17	20	21	22	21	16	19	334	
利用者内訳(人)	大人			2				1	1				4	
	高齢者	33	31	30	27	27	17	20	20	19	17	16	276	
	障がい者	6				2							8	
	小中学生				12	28				2	4		46	
	乳幼児													
計	39	31	32	39	57	17	20	21	22	21	16	19	334	
利用地区内訳(人)	豊岡													
	猿別													
	軍岡													
	大豊													
	明野	6	7	6	11	6	6	8	5	5	6	4	1	71
	新川					4								4
	相川	15	8	19	6	9	5	8	8	11	5	7	11	112
	南勢	2	6		4	2	2	2		2	2	2	4	28
	新和	4	2	2	2	5			5		1	1	1	23
	五位													
	糠内			2	4	7				1				14
	明倫				4	4								8
	美川	10	3	2	8	20	2	2	3	3	6	2	2	63
	中里	2	3	1							1			7
駒島		2				2							4	
弘和														
計	39	31	32	39	57	17	20	21	22	21	16	19	334	

○運行実績の推移

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	R7-R6比較
運行可能日数	244日	244日	244日	
運行日数	180日	186日	150日	-36日
運行回数	313回	334回	251回	-83回
利用者数	475人	536人	ア 334人	-202人
1日当たり乗車人数	2.6人	2.9人	2.2人	-0.7人
便当たり乗車人数	1.5人	1.6人	1.3人	-0.3人
運行率(日数)	73.8%	76.2%	61.5%	-14.7%
運行率(回数)	25.7%	27.4%	イ 20.6%	-6.8%
運賃収入	105,700円	120,500円	66,500円	-54,000円

○経費等の推移(千円)

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	R7-R6比較
運行経費	2,768	3,046	ウ 2,462	-584
国庫補助	106	160	145	-15
運賃収入	106	121	67	-54
町費補助	2,556	2,765	エ 2,250	-515

【説明】

令和7年度においては、利用者数がア欄の334人で前年度から202人の減。運行回数から算出した運行率はイ欄の20.6%であり、前年度から6.8ポイントの減となっております。経費については令和7年度 運行経費ウ欄の2,462千円に対し、国庫補助、運賃収入を差し引いたエ欄の2,250千円を町から補助しております。

コロナ禍における外出自粛の影響により令和2年度以降大きく利用が減少していましたが、令和6年度までは回復傾向でありました。

令和7年度の利用状況については、固定的な利用者の利用減少が影響しているものと推察しており、町民の重要な移動手段として、引き続き利用促進に向け周知に努めます。

# 【古舞線】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
運行可能日数	21日	20日	21日	22日	20日	20日	22日	18日	22日	19日	18日	21日	244日	
運行日数	20日	16日	19日	17日	17日	15日	19日	15日	18日	16日	16日	18日	206日	
運行回数	55回	35回	46回	47回	49回	36回	45回	34回	49回	38回	36回	50回	520回	
利用者数	63人	56人	67人	74人	65人	50人	58人	51人	67人	76人	42人	74人	743人	
運行率(日数)	95.2%	80.0%	90.5%	77.3%	85.0%	75.0%	86.4%	83.3%	81.8%	84.2%	88.9%	85.7%	84.4%	
運行率(回数)	52.4%	35.0%	43.8%	42.7%	49.0%	36.0%	40.9%	37.8%	44.5%	40.0%	40.0%	47.6%	42.6%	
便当たり乗車人数	1.1人	1.6人	1.5人	1.6人	1.3人	1.4人	1.3人	1.5人	1.4人	2.0人	1.2人	1.5人	1.4人	
運賃収入	7,700円	7,400円	9,100円	12,000円	8,900円	6,600円	8,400円	8,300円	10,100円	10,000円	6,200円	10,000円	104,700円	
運行回数(回)	1便	4		4	8	1			5	3		3	28	
	2便	19	14	19	15	16	15	18	14	16	14	14	191	
	3便	18	13	18	15	12	12	15	11	14	12	13	168	
	4便	7	5	6	8	6	7	8	6	7	6	9	81	
	5便	7	3	3	5	7	1	4	3	7	3	3	52	
計	55	35	46	47	49	36	45	34	49	38	36	50	520	
利用者数(人)	1便	4		5	9	1			5	3		3	30	
	2便	23	25	31	28	24	22	24	23	25	34	18	308	
	3便	19	17	21	22	16	15	15	13	18	15	24	221	
	4便	10	11	12	14	8	11	14	12	12	10	6	130	
	5便	7	3	3	5	8	1	5	3	7	3	3	54	
計	63	56	67	74	65	50	58	51	67	76	42	74	743	
利用者内訳(人)	大人													
	高齢者	52	52	62	65	49	44	53	48	54	68	39	651	
	障がい者	11	4	5	9	16	6	5	3	13	8	3	92	
	小中学生													
	乳幼児													
計	63	56	67	74	65	50	58	51	67	76	42	74	743	
利用地区内訳(人)	途別													
	上稲士別													
	日新	20	15	16	21	24	17	10	8	19	25	7	207	
	昭和													
	依田									8		4	12	
	西和													
	千住	34	26	31	26	25	25	29	22	29	25	25	30	327
	稲士別													
	新生													
	中稲士別													
	豊岡					2					2		2	6
	新和	4	12	16	8	4		12	10	4	8			78
	古舞	5	3	4	4	3	2	4	4	4	2	3	3	41
明倫				15	7	6	3	7	11	6	7	10	72	
美川														
計	63	56	67	74	65	50	58	51	67	76	42	74	743	

## ○運行実績の推移

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	R7-R6比較
運行可能日数	244日	244日	244日	
運行日数	203日	207日	206日	-1日
運行回数	501回	515回	520回	5回
利用者数	736人	802人	ア 743人	-59人
1日当たり乗車人数	3.6人	3.9人	3.6人	-0.3人
便当たり乗車人数	1.5人	1.6人	1.4人	-0.2人
運行率(日数)	83.2%	84.8%	84.4%	-0.4%
運行率(回数)	41.1%	42.2%	イ 42.6%	0.4%
運賃収入	101,800円	112,500円	104,700円	-7,800円

## ○経費等の推移(千円)

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	R7-R6比較
運行経費	3,146	3,374	ウ 3,652	278
国庫補助	71	131	90	-41
運賃収入	102	113	105	-8
町費補助	2,973	3,130	エ 3,457	327

### 【説明】

令和7年度においては、利用者数がア欄の743人で前年度から59人の減。運行回数から算出した運行率はイ欄の42.6%であり、前年度から0.4ポイントの増となっております。経費については令和7年度 運行経費ウ欄の3,652千円に対し、国庫補助、運賃収入を差し引いたエ欄の3,457千円を町から補助しております。

コロナ禍における外出自粛の影響により令和2年度以降大きく大きく利用が減少していましたが、運行率は回復傾向となりました。

町民の重要な移動手段として、引き続き利用促進に向け、周知に努めます。

### 3 その他

令和8年度の予定について

#### (1) 地域公共交通計画で策定した施策の実施、進捗管理について

- ・毎年度、時季を変更しコミュニティバスの乗り込み調査を実施いたします。
  - ・公共交通の利便性向上についての検討を進めます。
- ※幕別町地域公共交通計画の進捗管理については、第2回会議において行います。

#### (2) 会議の開催について

今年度は運行経路が変更となる大幅なダイヤ改正などは予定しておりませんが、運賃に係る協議が必要になる場合は、運賃協議のための分科会を開催するほか、12月～1月頃に令和8年度幕別町地域内フィーダー系統確保維持計画についての事業評価を行うため、協議会を開催する予定です。

#### (3) 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金に係る利用実態調査について

令和8年度の制度改正により、地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金を受けるための要件として、利用実態調査の実施が求められることとなりました。調査期間は令和8年4月1日から令和9年3月31日までとされており、以後も毎年度の実施が必要となります。

また、令和10補助年度（令和9年度申請分）からは、利用実態調査の結果に基づく目標設定が必要となります。

現時点では調査の詳細な要件は示されていませんが、今後示される内容を踏まえ、現在実施している乗降調査や利用状況の整理に不足がある場合は、必要な調査内容等について協議会にお諮りし、対応してまいります。